

## 議長定例記者会見の概要

日 時：令和6年10月9日（水）  
午前10時35分～10時45分  
場 所：議長応接室



### 9月定例会を終えての議長の所感

（濱砂議長）

本日は大変お忙しい中にお集まりいただきましてありがとうございます。

9月定例会も、本日をもちまして34日間の会期を終えたところであります。

今定例会では、令和6年8月の日向灘沖の地震への対応、並びに第50回衆議院議員総選挙等に係る追加補正予算を含め、合計28件の知事提出議案をすべて認めたところでございます。

代表質問では4名、一般質問で10名の議員が質問に立ちました。日向灘沖の地震や台風第10号を受けての防災減災・県土強靱化対策や、令和9年の本県開催が正式に決定した国スポ・障スポ、観光振興など、様々な課題について、活発な議論がなされたところであります。

このほか、議員発議案5件を可決いたしました。

また令和5年度の決算につきましては、予算が事業の趣旨や目的に沿い、適正、効率的に執行され、所期の事業目的を達成されたのかを審査をいたしました。

今後、国土強靱化対策や社会保障関係費、物価高騰対策など、多額の財政負担が見込まれていることから、執行部に対して、引き続き健全な財政運営を行うように求めたところでございます。

本県は、先般の地震や台風による災害からの復旧・復興や、人口減少といった多くの課題に直面しているところであります。

県議会といたしましては、県政全般にわたり、県民目線に立った徹底した議論を引き続き行うことで、議会に求められる役割をしっかりと果たしてまいりたいと考えております。

また、今定例会におきましては、宮崎産業経営大学の学生4名をインターンシップとして受け入れました。私と野崎副議長も直接意見交換を行い、若者の意欲的な姿勢に刺激を受けたところでございます。報道機関の皆様方にはこの取組を取り上げていただきまして感謝を申し上

げます。

## 質疑応答

### 【宮崎日日新聞】

国土強靱化予算の関係でお尋ねします。来年度で国の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」が終わり、その後の「国土強靱化実施中期計画」を策定中かと思いますが、そのことに対する県議会としての働きかけについてお尋ねします。

(濱砂議長)

国土強靱化については、まだ道半ばであります。県内の河川や土砂災害危険箇所等については、これまで様々な改善がなされてきたと思いますが、県土は広いため、予算が必要なところはまだまだたくさんあります。

国土強靱化関係予算はおそらく継続していくことになるだろうと思いますが、まだ具体的な内容が示されておられません。そういう意味では、議会を挙げて積極的に要請をしまいたいと思っております。

(野崎副議長)

今年の台風第10号等で大雨が降った際に、例えば河川の水位が上がらなかったなど、国土強靱化については目に見えて効果が出ていますので、そのことも訴えながら国に要望をしていきたいと思っております。

議長が申し上げたように、中山間地域等は急な傾斜の法面もありますし、橋脚等もありますので、全般的な国土強靱化予算について訴えていかなければなりません。

(濱砂議長)

最近では地震や台風災害、大雨が頻繁に起きていますので、県内で安全対策を要望されている地域は全て取り組んでいただきたいということで、以前と比べると対策は取られてきていますが、まだ改善していない部分もたくさんありますので、国土強靱化については引き続きしっかりと要望していきたいと思っております。